NIE実践報告

1．タイトル：新聞を読もう　～新聞記事から進路を考えよう～

2．学校名

兵庫県立星陵高等学校

3．実践者名（代表者名）

中村博行他、62回生2年生学年団10人　代表者　高田恭一

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　　2年生全員317人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞記事から進路を考えよう

7．目標（狙い）

①新聞を読む習慣を付ける②各新聞を読み比べる③テーマに沿って記事を選択し、内容を吟味して自分の意見を書く④他の人に自分の文章を読んでもらったり、他の人の前で発表する

8．評価の視点

①進路希望を考える材料として適切な記事を選べているか
②自分の意見をわかりやすくまとめることが出来るか、また適切なプレゼンテーションが出来るか

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「進路の探究」をテーマとして、職業調べや学部学科調べ、大学体験や大学の出前講義、小論文や志望理由書作成などの作業や体験を通した学習の一環として、10月～11月の各週1回、合計4回の授業を配当した。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

本校では特別に先行実施を許可いただき、5月から新聞を配置している。5・6・10・11月の4ヶ月間にわたって、新聞6紙を職員室前と1階ピロティに配置した。5月の全校集会で新聞の配置を告知して、「新聞を読もう」「どんどん切り抜きをして新聞を丸ごと活用しよう」と、全校生に対して呼びかけた行う(高田)。
授業について:①学年集会において、新聞の読み方のいろいろな工夫の紹介、および今後の「総合的な学習の時間」におけるNIE実践授業の展開と流れを説明する(中村)。
②各自で新聞の投書、社説、「私の意見」などから一つの記事を選び、記事に対する同意文と反論文を作成する。その文章を他の生徒とアトランダムに交換し、同意文に対する反論とその反論に対する反論を作成する(2年生クラス担任)。
③興味がある記事を二つ選び、簡単な内容紹介文と何故その記事を選んだかを記入する。その後HR内で回覧する(2年生クラス担任)。
④グループに分かれて新聞から「生き方」「仕事の意味」「人生観」等の記事を選び、クラス内で紹介、発表して内容が優れたものや感動を与えたものを選ぶ(2年クラス担任)。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

もっと新聞を読んでみようと思った。新聞は世界の状況だけでなく、それ以外の興味深い記事もある。それに新聞記事は読みやすい文章で書かれているので、読むだけでも勉強になると思った。進路についてはいろいろな記事を見てたくさんの道を知り、曖昧な決め方ではダメだということを改めて思うことが出来た。

12．成果と課題

中村教諭のクラスでは「淡路人形浄瑠璃の義太夫三味線奏者鶴澤さん」「iPS細胞発表１年の京大山中教授」「格闘家転向表明の石井選手」「乳ガン体験を語った元養護教諭山田泉さん」といった人物が取り上げられていた。進路希望を考える上で大切な点は、夢や憧れに向かう姿勢を育むことから始まり、現実とのギャップをどう実感して、何が不足しているかに気付き、日々の生活にどう反映させるかである。そういった意味で友人が何を考え、どう発表するかを傾聴できたことはよい体験になった。共通の記事を与えるだけでなく、各自が記事を読んで探すという作業そのものが大変有意義であったといえる。反面、準備時間がやや不足であった。